

平成艸紙



おりおりの記

## 趣味への憧憬

三菱UFJモルガン・スタンレー証券  
取締役社長 兼 最高経営責任者

豊泉 俊郎

自己紹介を書く時に、必ずあるのが「趣味」の欄。私は、スポーツ観戦、ゴルフ、囲碁・将棋と書く。但し、本当に自分の趣味なのか曖昧である。確かに、野球やゴルフ、サッカー等テレビで観るし、国際試合は特に観たくなる。また、運よく野球のキップが手に入れば喜んで行く。ゴルフも職業柄やる機会も多いし、楽しい。と言って、真面目に練習はしないし、仲間を募ることも無い。50歳頃は80台で回ったこともあったが、今は90台なら大満足している。真夏や真冬、そして大雨の時はやりたいとは思わない。囲碁も将棋も、暇な時はCATVチャンネルを観るが、実際に誰かと打つのは2年に1回程度で、満足している。ただ、昔から囲碁・将棋をやってきた記念として、3年前に囲碁・将棋とも四段の免状は頂いた。

若い時を振り返ると、中学校の時は卓球で、千葉県西部地区で、個人戦3位になったが、興味は続かず、高校ではクラシックギタークラブに入った。大学でもギタークラブをやり、演奏会にも出た。指揮法を勉強し、指揮者としてヴィヴァルディやヘンデルの曲を指揮した。簡単な編曲も出来た。今、ギターは屋根裏部屋で静かに寝ている。

日常は仕事で確かに忙しい。しかし、暇が無いから、本当の趣味が無い、というのは当たらない。私の大学のゼミの恩師は、経済学界でも有名な学者だが、現役の超多忙な時に、蝶の採集、クラシック音楽の研究も大変なものだった。蝶の収集で

は、世界を駆け巡って学会でも注目される珍種を採取していた。何時、何処にいるのか判然とせず、何年に一度会えるのか判らない代物である。クラシック音楽に至っては、殆ど全ての作曲家の歴史、曲が作られた時の状況を知り、殆どの曲を聴いていて、解釈が明確である。いつも時間が足りないという。また、企業経営者でも鉄道などについて、深い興味を持たれ、寸暇を見出されて研究、視察、作成等をされている方がおいでになる。こうした方の趣味のお話は、生き生きとされている。暇が出来れば、趣味にもっと時間がとれ、幸せなのだろうと勝手に想像する。羨ましい限りで、生まれつきが違うのだろうと思う。



今は、時間に追われていることを半分楽しんでような毎日であり、趣味が浅いことへの寂しさはない。私は、人と会って飲んで、話すのが好きなので、友人との接点だけは減らさないようにしている。小・中・高や大学、会社の同期等の集まりだけは何とか参加しようとしている。真の趣味を持っている方への憧憬か。